

米国海軍艦船の小樽港寄港について

平成 22 年 1 月 25 日

小 樽 市

平成 22 年 1 月 12 日に、小樽港長から米国海軍艦船「BLUE RIDGE」の小樽港寄港について通知がありました。

小樽市としては、①入出港時及び接岸時の安全性、②商業港としての港湾機能への影響、③核兵器の搭載の有無の受入判断の 3 項目について慎重に検討した結果、勝納ふ頭 1 番バースを使用岸壁として手配する旨回答いたしました。

なお、核兵器の搭載の有無については、外務省から別紙のとおりの回答を得ております。

北米保第797号

平成22年1月22日

北海道小樽市長 殿

外務省北米局日米安全保障条約課長



米国海軍艦船の入港に関する照会について

平成22年1月19日付けで、貴職から米国海軍艦船の入港に関する照会があった件につき、下記のとおり回答いたします。

記

米国は、1991年にブッシュ大統領のイニシアティブにより、水上艦船、攻撃型潜水艦を含む米海軍の艦艇及び航空機から戦術核兵器を撤去する旨表明し、また、1994年にクリントン政権による核態勢見直しの中で、米軍の水上艦船及び空母艦載機から戦術核兵器の搭載能力も撤去する旨発表しています。したがって、御照会のあった米軍艦船「BLUE RIDGE (LCC19)」については、搭載能力がない以上、核兵器を搭載していないことにつき、我が国政府として疑いを有していません。

つきましては、貴職におかれては、上記の次第を御勘案の上、今後とも米軍艦船の入港に際しては、日米安全保障条約及びその関連取扱いに基づいた取扱いがなされますよう、しかるべく協力方お願いいた

